



## 2019年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年6月3日

上場会社名 株式会社 オリバー

上場取引所 名

コード番号 7959 URL <http://www.oliverinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 和昌

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 山本 隆夫

TEL 0564-27-2800

四半期報告書提出予定日 2019年6月4日

配当支払開始予定日

2019年7月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年10月期第2四半期の連結業績(2018年10月21日～2019年4月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第2四半期	14,457	1.7	1,445	8.4	1,524	8.1	1,248	11.8
2018年10月期第2四半期	14,713	9.7	1,577	7.3	1,659	4.6	1,117	9.1

(注) 包括利益 2019年10月期第2四半期 756百万円 (29.0%) 2018年10月期第2四半期 1,065百万円 (36.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第2四半期	122.44	
2018年10月期第2四半期	109.55	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期第2四半期	41,626	30,417	64.9	2,650.46
2018年10月期	40,355	29,990	66.0	2,612.97

(参考) 自己資本 2019年10月期第2四半期 27,027百万円 2018年10月期 26,645百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期		10.00		30.00	40.00
2019年10月期		15.00			
2019年10月期(予想)				31.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年10月21日～2019年10月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,600	0.0	1,750	18.5	1,950	17.8	1,550	14.9	152.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年10月期2Q	12,976,053 株	2018年10月期	12,976,053 株
期末自己株式数	2019年10月期2Q	2,778,858 株	2018年10月期	2,778,676 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年10月期2Q	10,197,300 株	2018年10月期2Q	10,197,550 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済情勢は、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しの動きがみられたものの、米中貿易摩擦や流動的なユーロ圏経済の影響等から、国際経済の不確実性や金融市場の変動が引き続き懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

こうした経済状況の中、当社グループは『収益向上・安定的な成長』の基本方針のもと、より市場別に深耕した営業活動に取り組み、宿泊市場、オフィス・文教・公共市場、チェーンストア市場での売上高は伸長いたしました。医療・福祉市場においては、建設費の高騰等によって建設計画や大規模リニューアルが延期・見直しとなる案件が多く、売上高は減少いたしました。また、コーポレートガバナンス・コードに基づく政策保有株式の見直し等による投資有価証券の売却を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高が14,457百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は1,445百万円（同8.4%減）、経常利益は1,524百万円（同8.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,248百万円（同11.8%増）となりました。

主なセグメントの経営成績は以下のとおりであります。

## 〈家具・インテリア事業〉

家具・インテリア事業につきましては、インバウンド効果による宿泊施設の新築・リニューアル需要や政府推奨の「働き方改革」によるオフィス移転案件は活況でありましたが、医療・福祉市場は落ち込むなど販売市場の環境によって大きく異なり、売上高は13,112百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は1,207百万円（同8.8%減）となりました。

なお、家具・インテリア事業における販売市場別の売上高については、市場区分をより明確にするため、第1四半期連結会計期間より一部組替を行っております。この変更を踏まえ、販売市場別の前年同期との数値比較は、変更後の区分に基づいて行っております。

販売市場別では、宿泊市場は、インバウンド効果による大型宿泊施設への納入などがあり、売上高は3,876百万円（同14.7%増）となりました。

医療・福祉市場は、建設費の高騰等による新築案件や大規模リニューアル案件が減少し、売上高は2,400百万円（同28.6%減）となりました。

オフィス・文教・公共市場は、働き方改革によるオフィス移転・改装案件や首都圏を中心にシェアオフィスが増加しており、売上高は2,985百万円（同5.8%増）となりました。

商環境市場は、温浴施設への納入は伸長いたしました。前年同期と比べ大型レジャー施設案件が減少したため、売上高は1,928百万円（同11.3%減）となりました。

チェーンストア・その他市場は、飲食チェーンの既存店改装やマルチブランドでの出店が増加し、さらに飲食以外のチェーン店舗什器等の販売も拡充したため、売上高は1,921百万円（同18.4%増）となりました。

## 〈放送・通信事業〉

放送・通信事業につきましては、毎月開催する大相談会では、毎回平均180組を超える来場があり、利用料の売上高は増加しましたが、前年にスポット要因として一部地区の支障工事売上があったため、前年同期と比較して減収となりました。

新しい通信サービスとしては、地域BWAの免許取得を完了し、行政機関と連携を図りながらWi-Fi基地局を新たに整備し、サービスが導入されていない集合住宅施設などへ積極的に営業活動を推進いたしました。また、2018年12月より始まりました新4K8K衛星放送に対応したサービスも開始いたしました。

この結果、放送・通信事業における売上高は1,306百万円（同0.5%減）、営業利益は213百万円（同6.6%減）となりました。

## 〈その他事業〉

その他事業につきましては、牧場事業及び不動産賃貸事業を区分しており、売上高は39百万円（同0.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

総資産については、前連結会計年度末に比べて1,270百万円増加し、41,626百万円となりました。その主な要因は現金及び預金の増加446百万円、受取手形及び売掛金の増加2,003百万円、投資有価証券の減少1,000百万円であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて843百万円増加し、11,208百万円となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金の増加459百万円、電子記録債務の増加697百万円であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて427百万円増加し、30,417百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益1,248百万円の計上及び剰余金の配当305百万円による利益剰余金の増加942百万円、その他有価証券評価差額金の減少574百万円が主な要因であります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より121百万円増加し、17,689百万円となっております。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、462百万円の収入超過（前年同期は129百万円の支出超過）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,902百万円、売上債権の増加額2,003百万円、仕入債務の増加額1,157百万円、法人税等の支払額457百万円等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2百万円の支出超過（前年同期比579百万円の支出減）となりました。これは主に、定期預金の増加額326百万円、有形固定資産の取得による支出353百万円、投資有価証券の売却による収入705百万円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、332百万円の支出超過（前年同期比165百万円の支出増）となりました。これは主に、配当金の支払額304百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況にありますが、今後も各販売市場において規模拡大を図るとともに、生産性向上及びコスト削減に努めてまいります。

なお、2019年10月期の通期業績予想につきましては、2019年3月4日に公表した通期業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,957,123	19,403,827
受取手形及び売掛金	5,739,361	7,743,047
たな卸資産	1,059,654	1,075,702
その他	453,907	280,179
貸倒引当金	△1,554	△1,567
流動資産合計	26,208,492	28,501,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,733,387	2,589,562
機械装置及び運搬具（純額）	540,969	758,573
土地	3,528,821	3,528,077
リース資産（純額）	4,977	2,143
その他（純額）	195,073	197,004
有形固定資産合計	7,003,230	7,075,361
無形固定資産		
その他	396,765	342,888
無形固定資産合計	396,765	342,888
投資その他の資産		
投資有価証券	6,073,999	5,073,141
保険積立金	326,022	307,859
退職給付に係る資産	49,539	55,151
繰延税金資産	30,498	25,585
その他	317,570	284,719
貸倒引当金	△50,832	△39,831
投資その他の資産合計	6,746,797	5,706,625
固定資産合計	14,146,792	13,124,874
資産合計	40,355,285	41,626,065

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,354,078	2,813,466
電子記録債務	2,332,249	3,029,978
短期借入金	950,000	950,000
未払法人税等	515,568	583,674
賞与引当金	336,123	266,226
役員賞与引当金	106,848	51,174
その他	1,012,799	922,458
流動負債合計	7,607,666	8,616,977
固定負債		
繰延税金負債	638,510	475,345
役員退職慰労引当金	1,966,496	1,961,345
退職給付に係る負債	101,166	103,433
その他	51,102	51,102
固定負債合計	2,757,276	2,591,226
負債合計	10,364,943	11,208,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,362,498	6,362,498
資本剰余金	5,425,520	5,441,916
利益剰余金	15,898,039	16,840,675
自己株式	△3,117,302	△3,117,660
株主資本合計	24,568,756	25,527,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,100,058	1,525,587
繰延ヘッジ損益	△3,207	649
為替換算調整勘定	8,069	△986
退職給付に係る調整累計額	△28,195	△25,437
その他の包括利益累計額合計	2,076,725	1,499,812
非支配株主持分	3,344,860	3,390,618
純資産合計	29,990,341	30,417,860
負債純資産合計	40,355,285	41,626,065

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月21日 至 2018年4月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月21日 至 2019年4月20日)
売上高	14,713,117	14,457,738
売上原価	10,548,346	10,369,761
売上総利益	4,164,770	4,087,976
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△297	△389
役員報酬及び給料手当	907,365	953,400
賞与引当金繰入額	225,916	236,806
役員賞与引当金繰入額	52,487	51,174
役員退職慰労引当金繰入額	29,228	26,833
退職給付費用	△1,510	25,558
運搬費	245,510	248,151
減価償却費	125,950	125,587
その他	1,002,152	974,938
販売費及び一般管理費合計	2,586,802	2,642,061
営業利益	1,577,968	1,445,915
営業外収益		
受取利息	11,030	5,196
受取配当金	55,472	55,834
デリバティブ評価益	—	3,960
為替差益	—	243
その他	31,387	24,180
営業外収益合計	97,890	89,414
営業外費用		
支払利息	2,315	2,465
デリバティブ評価損	8,500	—
市場変更費用	—	8,500
為替差損	4,678	—
その他	895	25
営業外費用合計	16,389	10,991
経常利益	1,659,469	1,524,338
特別利益		
固定資産売却益	434	462
投資有価証券売却益	87,672	376,194
ゴルフ会員権売却益	—	4,290
特別利益合計	88,107	380,946
特別損失		
固定資産処分損	1,151	0
投資有価証券売却損	426	74
ゴルフ会員権売却損	—	2,712
特別損失合計	1,578	2,787
税金等調整前四半期純利益	1,745,998	1,902,497
法人税、住民税及び事業税	540,564	523,043
法人税等調整額	4,898	46,117
法人税等合計	545,462	569,161
四半期純利益	1,200,535	1,333,335
非支配株主に帰属する四半期純利益	83,358	84,778
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,117,177	1,248,557

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月21日 至 2018年4月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月21日 至 2019年4月20日)
四半期純利益	1,200,535	1,333,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99,291	△574,470
繰延ヘッジ損益	△4,378	3,856
為替換算調整勘定	△17,477	△9,056
退職給付に係る調整額	△14,236	2,757
その他の包括利益合計	△135,384	△576,912
四半期包括利益	1,065,151	756,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	981,792	671,644
非支配株主に係る四半期包括利益	83,358	84,778

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月21日 至 2018年4月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月21日 至 2019年4月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,745,998	1,902,497
減価償却費	322,547	313,680
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△510	△10,988
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36,594	△69,896
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,087	△55,674
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	18,110	△5,151
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△42,282	599
受取利息及び受取配当金	△66,502	△61,030
支払利息	2,315	2,465
為替差損益 (△は益)	4,410	△243
デリバティブ評価損益 (△は益)	8,500	△3,960
有形固定資産売却損益 (△は益)	△434	△462
投資有価証券売却損益 (△は益)	△87,246	△376,119
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,893,628	△2,003,686
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△169,625	△16,047
保険積立金の増減額 (△は増加)	6,722	18,163
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,448,428	1,157,118
その他	△86,963	70,705
小計	141,157	861,969
利息及び配当金の受取額	66,502	61,030
利息の支払額	△2,293	△2,702
法人税等の支払額	△334,957	△457,417
営業活動によるキャッシュ・フロー	△129,589	462,881
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△103,083	△326,882
有形固定資産の取得による支出	△82,204	△353,259
有形固定資産の売却による収入	450	462
無形固定資産の取得による支出	△40,350	△29,026
投資有価証券の取得による支出	△537,770	△4,754
投資有価証券の売却による収入	180,800	705,562
その他	—	5,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△582,158	△2,811
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△628	△358
配当金の支払額	△152,496	△304,771
非支配株主への配当金の支払額	△8,836	△12,624
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△10,000
その他	△4,856	△4,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,818	△332,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,637	△6,759
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△889,203	121,200
現金及び現金同等物の期首残高	15,807,835	17,568,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,918,631	17,689,378

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。